

地域密着型通所介護・運営推進会議（議事録）

令和7年3月25日（火）

18:00 ～ 19:30

デイサービスセンター共楽苑にて

会議出席者

- ・佐々木俊博 委員（コーポ「ますだ」 施設長）
 - ・永井 安行 委員（利用者家族代表）
 - ・品川 弥次 委員（西南地区児童民生委員協議会会長）
 - ・豊田 繁雄 委員（二条地区社会福祉協議会元会長）
 - ・中島 保 委員（美濃地区社会福祉協議会元会長）
 - ・大崎 委員 （益田市高齢者福祉課）
 - ・社会福祉法人わかくさ福祉会
事務局として（岡崎）
-

1. はじめに

2. 前回の振り返りとその後の課題について

- ・前回の議事録を参照

3. 情報提供と意見交換

- ・運営指導後の対応について

苑長より、令和6年9月に行われた益田市による運営指導についての報告が行われた。衛生管理や虐待防止についての対応について、委員会等の実施については適正に行われていたものの、運営規程上の記述に漏れがあったため、運営規程の変更等を行ったものである。

その他の項目については、おおむね適正に運営されているとの評価をいただいた。

- ・苦情処理と今後の体制について

地域密着型通所介護に対するものではないものの、居宅介護支援事業に対する苦情についての対応について、報告が行われた。

益田市役所を通じて対応を求められたものであった。

また、令和7年度より、苦情処理体制における第三者委員につき、交代を予定していることが報告された。豊田健二委員、宮内真也委員が推薦されている。

- ・わかくさ福祉会の現状について

わかくさ保育園の休園が予定されている。また、地域密着型通所介護事業につ

いても、利用者数の減少傾向が続いていることが報告された。
ゆえに、法人本部を将来的には高津の緑ヶ丘保育所に移動する予定もある。

報告を受けて、利用者数の減少への対応について、意見交換が行われた。

① 地域活性化について

人口減少地域であっても、工夫や努力をして活性化している地域があることが紹介された。

津和野のとある地域の具体例をご紹介していただいた。

他県の見学等に行かれた委員から、地域の宣伝の仕方についてご紹介があった。

② 他の通所介護事業の現状

人口減少に対して定員を減らして対応している法人もあるが、そもそもデイ単独での運営は厳しい現状と考えられている。

法人合併、デイ合併等の検討も行われているようだ。

③ 行政より、今後の人口の推移、認定者数の推移、独居の割合等についてご紹介をいただいた。

4. その他

- デイの行事、ミニ外出等のお出かけ先について、意見交換が行われた。

- 美濃地区への外出支援ボランティア、「てごすけ号」の実績について。

実質、2名様が、毎月1回、ご利用されている状況である。梅寿会さんが撤収されたので、現状は共楽苑のみで美濃診療所への送り迎えを行っている。

- 医療機関の現状について、情報交換が行われた。

- 次期の委員について

次年度の利用者代表について、ご推薦をいただけるとありがたいと考えている。
要検討。